

★第二回区議会定例会報告

平成22年区議会第1回定例会が、6月9日から28日まで行われまし

その中で特に注目されるのは、本区として初めての児童・高齢者の複合施設「グランチャ東雲」に

また今定例会では、3つの意見書を可決しました。一つ目は「都市再生機構賃貸住宅居住者の居住

日々の活動

★平成22年第二回区政報告会開催



5月28日(金)午後7時より亀戸福祉会館で、今年第2回目の区政報告会を開催しました。

科書の普及促進を求める意見書、三つ目が「子宮頸がん予防ワクチンの接種推進を求める意見書です。

さらに各委員会では、私が所属する厚生委員会や清掃港湾・臨海部対策特別委員会に限らず、すべての委員会で活発に議論が展開されています。

また厚生委員会では、本区に4つある老人福祉センターが来年度から、社会福祉協議会から公募で民間に指定される旨の説明があり、その理由と職員の今後についての質問をしました。

★視察報告

都内防災船着場巡り

7月12日、東京屋形船連合会発足を記念して行われた、都内防災船着場巡りに参加してきました。

2012年の開業後は、年間540万人ともいわれる観光客を、陸路からだけ考えるのではなく、江戸東京の古くからある水路を利用した集客に、屋形船のツールを

昨年より増加するなど、なかなか解決していない点について議論が行われ、執行部としては早急に改善すべき処置をとっている説明がありました。



亀戸福祉センター

★22年度中に策定予定の計画

- 男女共同参画行動計画
□都市計画マスタープラン
□道路網整備計画
□教育推進アクションプラン
□観光推進プラン

へと広がっていくと期待されています。またそのことは、災害時の道路寸断による陸路閉鎖の時、人や物資の緊急搬送や帰宅困難者の一時避難や輸送に十分活用できるとの説明がありました。

当日は小雨の降る中、江東区、墨田区、江戸川区、中央区、千代田区、港区から各担当者が乗船し、熱心に説明を聞いていました。私はこの問題を10年前から取り組んでいました。しかし不法係留との絡みがありなかなか前へ進みませんでした。今回の連合会の発足を機に大いに活躍していただきたいと思います。



墨田区役所前防災船着場

松戸市常盤平団地の地域見守り支援事業

7月16日、「高齢者地域見守り支援事業」の先進的な取り組みをしている、常盤平団地を視察してきました。全国から孤独死予防対

でありしつかり議論していきたいと考えています。

特にマスタープランの策定については、6月5日の第1回区民ワークショップを皮切りに10月までに5回に及ぶワークショップを開催予定で、できるだけ区民の意見を取り込んだ計画づくりに取り組んでいます。

また教育推進プランの策定は、本区の学校教育の基本方針になる大変重要な計画策定なので、特に学校現場の生の声を十二分に取り入れた議論が必要になります。もし具体的なご意見がありましたら遠慮なく教えていただければと思います。

さらに観光振興プランは、本区の街づくりの視点の中で、地域振興と自治体経営の観点からとても重要になります。特に東京スカイツリータワーの誕生を前にして、内部河川の有効利用や、亀戸の観光資源の活性化が焦点になっています。

江東区では22年度で、見守り支援事業のサポート地域の育成事業も3年目を迎えますが、今年度は、亀戸1丁目町会を含む4つの団体が選ばれました。私も町会総務の立場で参加させていただきました。

「あいさつは『孤独死ゼロ』の第一歩」、との標語にあるように孤独死ゼロ作戦はまず挨拶からと説明され、「向こう三軒両隣り」の呼びかけ運動やあんしん登録カードの作成、また「いきいきサロン」の運営による閉じこもりをなくす運動など様々な具体的な活動が大変参考になりました。



団地の商店街1Fにあるいきいきサロン